



2003年06月02日

フォルクスワーゲン グループ、特許出願件数首位

2003年5月29日、ヴォルフスブルグ発 -

フォルクスワーゲンは、2002年度ドイツ国内において特許出願件数がもっとも多い自動車メーカーの座を再び獲得しました。ドイツ特許商標庁 (DPMA) が公表した数字によると、欧州最大の自動車メーカー フォルクスワーゲンは、昨年、1,302件の特許を出願。同社は2001年にも、自動車メーカー中最多の特許出願を行っています。また、ドイツフォルクスワーゲン本社があるニーダーザクセン州の2002年度特許出願のうち、44パーセント強がフォルクスワーゲンによるものでした。

特許出願のうち60件以上が、フォルクスワーゲン グループの新しいダイレクト シフト ギアボックス (DSG) に関する出願でした。この6速ギアボックスは、従来のオートマチック ギアボックスとマニュアル ギアボックスの長所を併せ持ち、素早いシフトチェンジと低燃費を両立させています。DSGの特徴は、2組のクラッチを内蔵している点にあります。第1クラッチが奇数段のギアに、第2クラッチが偶数段のギアに、それぞれ対応します。これにより、走行中あるギアが作動中であっても、あらかじめ、もう1組のクラッチが次に選択すべきギアに接続されていますが、この状態ではまだ動作状態には入っていません。ギアチェンジに要する時間は100分の3～4秒にすぎず、しかも、その間にパワーが途切れることもありません。

また、2002年度に出願した特許のうち、FSI (Fuel Stratified Injection = 層状混合気燃焼技術) エンジンの高効率エキゾースト処理技術に関するものは40件以上に達しています。ドイツ等EU諸国において、FSIエンジンを搭載する現行のルポ、ポロ、ゴルフ、ボーラ、トゥーランは、すべてEU4排ガス基準に適合しています。

ヴォルフスブルグにあるフォルクスワーゲン グループ研究開発部門には、約1万名のエンジニア等が在籍しています。同部門には、独自のデザイン センター、2棟の全天候型/風洞実験室、音響センター、衝突実験室を完備した性能試験場、車載電子部品とシステムに電磁波が及ぼす影響を研究する2つの実験ホールがあります。研究開発部門は、さらに、総面積11平方キロメートルのテストコースを所有しています。この施設には、あらゆる路面状況のサンプルが整っています。フォルクスワーゲン グループはヴォルフスブルグの他に、インゴルシュタット、チェコ共和国、スペイン、ブラジル、メキシコ、南アフリカ、中国にも開発施設があります。グループ全体では20,500名以上のスタッフが、明日を担う自動車テクノロジーの開発に取り組んでいます。

DSGやFSIエンジンに関する広報写真及び資料はフォルクスワーゲンAGプレスサイト

www.volkswagen-presse.de (ID: Patente; Password: Wolfsburg; 6月29日まで有効) からご使用頂けます。

お問い合わせ先: Volkswagen Communications
フォルクスワーゲンジャパン 広報部 企業広報

Dr. Guenther Scherelis tel.+49-5361-921241
池畑 浩 tel. 03-5575-7347
ドロテア ガストナー tel. 03-5575-7364